



# ひかり

No.8

平成27年11月30日  
千代田区立麹町小学校  
校長 山田 茂利  
URL <http://www.kojimachi-e.ed.jp/>

寒さも日ごとに増す中、子供たちが元気に校庭に出て行く姿に頼もしさを感じます。

過日は学芸会にご来校賜りありがとうございます。子供たちが力を合わせて作品（演劇）づくりに挑戦している姿をご覧いただくとともに、作品（子供たち）からのメッセージを受け取っていただけたでしょうか。学芸会でご覧いただいた（感じていただいた）すべてが、日々の学習や生活の積み重ねによる力の表れだと思います。

また、その力には、11月に取り組んだ第2回「トライ&チャレンジ（ふれあい）月間」及び「麹町小学校思いやり月間」の内容も加味されています。それというのも、両教育活動の根幹にあるものが「**徳育・道義心**」だからです。そして、11月は「**言葉を大切にしながら**」に視点を置き教育を推進してきました。

全校朝会でも私から「11月は学芸会を中心にして、『**言葉のもつ力**』を考えながら、友だちとの関係においても学習活動においても言葉を大切に生活してほしい。」と話しました。

さて、この「**徳育**」という言葉をごどのように思われるでしょうか？もし、古めかしい言葉だと思われるとしたら、それは社会全体での「徳」が見失われてきているということではないでしょうか。

具体的に考えてみましょう。思いやり（ふれあい）月間で対応する「いじめ問題」もこの徳育に関することです。例えば、子供たちは生活の中で、ややもすると失敗したときなど、

「うまくいかなかったのは『〇〇のせいだ』とつい責めてしまう。」ということがあります。

**道徳**でもこのような題材を取り上げ、失敗した子供の気持ちを考えたり、自分のことを振り返って考えたりすることなどを通して、相手の気持ちを理解して行動するということについて学習します。いじめに通じる事態が起きないための学習ですが、**徳を育む**ための学習です。

麹町小学校でもいじめ問題の防止、早期発見・対応に取り組んでいますが、先にお話ししましたように、もっと広く学芸会や生活指導などにおいても徳育に視点を置いた教育を進めています。

**知・徳・体をバランスよく育てる**ために、子供の教育にたずさわる者（学校・家庭・地域等）が共通の認識に立ち、子供の指導・助言・支援に当たることができるように引き続きご協力をお願いします。

次に2つのことを徳育の参考として掲載します。

まず、ドロシー・ロー・ノルトさんの「子は親の鏡」の一部を掲載します。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる（中略）

励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ（中略）

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

次に、文部科学省が平成27年3月に発表した学習指導要領の一部改正における「道徳教育の抜本的改善・充実」の内容について掲載します。

「道徳の時間」を「特別の教科道徳」（「道徳科」週1時間）として新たに位置付ける。

【具体的なポイント】

- 道徳科に検定教科書を導入
- 内容について、いじめの問題への対応の充実や発達段階をより一層踏まえた体系的なものに改善  
・「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加
- 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫
- 数値評価ではなく、児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握

なお、「トライ&チャレンジ（ふれあい）月間」「麴町小学校思いやり月間」に引き続き、12月4日から10日までは「人権週間」です。本校では引き続き、人権週間の重点目標「みんなで築こう 人権の世紀ー考えよう相手の気持ち 育てよう 思いやりの心ー」に向かって、「いじめ問題の防止、早期発見・対応」及び「体罰問題」など人権に配慮した教育活動・指導を進めてまいります。各ご家庭においても、子供の声に耳を傾け、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもつとともに、いじめや暴力はいけないということについて再度ご指導いただき、何かご心配なことがございましたら学校にご相談、ご連絡くださるよう改めてお願いいたします。

2学期もまとめの時期になります。この後各学年・学級では学んできた内容を確認し、成長を認め、課題を明らかにして冬休みを迎えられるように指導してまいります。また、新年を迎えるにあたり1年を振り返り、新年の決意を持たせていくようにもいたします。

## 交流体験について（その1）

本校では、集団への所属感や連帯意識を深めつつ、学校の仲間や地域の人々とのかかわり、協同の意義や大切さを実感する機会をもつことができるように、異年齢交流などを含む多様な人々との交流体験を重視し、次のような特色ある教育活動を行っています。

「わんぱくキッズ活動」「区の特徴を生かした様々な方との交流活動」「幼稚園・保育園児との交流活動」

今号ではこの中から12月に実施する「わんぱくキッズ祭り」のことと、その基になっている「わんぱくキッズ活動」の計画についてご紹介します。

### わんぱくキッズ活動

#### 1 ねらい

異年齢集団で活動することにより、親睦を深めるとともに、集団の一員としての自覚や互いに助け合ったり、認め合ったりする態度を育てる。

#### 2 活動内容・計画

- キッズ遊び8回：5月、6月、7月、10月、11月、1月、2月、3月
- キッズ給食3回：6月、10月、3月（10月はあおぞら給食）
- わんぱくキッズ祭り：12月

#### 3 活動場所

- 1～6年の各教室、体育館、校庭

#### 4 班編成

○全校児童を15班に分け、それをさらにA、B、Cの3グループに分ける。

#### わんぱくキッズ祭り

○日時：12月12日（土）2・3・4校時〔学校公開日〕

○内容：わんぱくキッズ班の高学年が中心になり、班員が協力してみんなが楽しめるゲームのお店を計画・準備し、当日は交代で仕事をしたり、お店を回って楽しんだりする。

○準備：12月7日（月）1校時、9日（水）5校時、10日（木）5校時



#### 学芸会アンケートについて

過日は学芸会のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。多くの方から各学年の劇に関して高い評価をいただきました。また、会場等の改善について良かったとの評価をいただきました。ただし、会場関係ははじめこれで十分と言うことはございませんので、いただきましたご意見は、次回の計画の参考にさせていただきます。



#### 孺恋自然体験交流教室

5年担任 井熊 毅、佐々木 淑恵

5年生は10月22日から24日まで、2泊3日で孺恋自然体験交流教室に行ってきました。

高速道路を下りると、まず、色鮮やかな紅葉が目に飛び込んできました。自然の織り成す芸術に、目を輝かせ、胸を躍らせると同時に始まった孺恋自然体験交流教室。カレー作りやキャンプファイヤー、マス釣りにリンゴ狩りと、大自然を満喫しながら、貴重な体験をすることができました。そしてメインの活動となる、農作業体験。ジャガイモの収穫を通して、自然に対して、また、食料生産に携わる方々に対する感謝の気持ちをしっかりとつことができました。

3日間を通して、子供たちは時間を守って行動し、協力して生活することができました。そして今、「今回の経験を普段の学校生活に生かしたい。」と考え、様々なことに積極的に取り組んでいます。今後とも子供たちが麴町小の頼れるリーダーに成長していけるよう指導・支援してまいります。



【麴町小学校ホームページ「学校・園日記」】〔中央の画像2015年10月23日（金）から〕

農作業体験1 ジャガイモの収穫の様子です。今年はジャガイモの出来は夏の猛暑と秋の長雨で、今一つだったということでしたが、都会の子供たちにとっては大収穫でした。

## 学芸会を終えて

学芸会担当 末永 亜由

芸術の秋にふさわしく11月13・14日の両日ともに、子供たちはみんなで協力してすばらしい学芸会（作品）をつくり上げることができました。

お忙しい中、多くの方々にご観覧いただき、温かな拍手を本当にありがとうございました。

学芸会開催までの期間、子供たちは運動会が終わるとすぐに学芸会に向けて気持ちを切り換え、新たな目標に向かって、みんなで力を合わせて努力してきました。特に、音楽担当として各学年の体育館練習についての最後の1週間の子供たちの成長には驚かされました。子供たちは、先生の熱心な指導や助言をしっかりと受け止め、役の心情や場面の状況を想像し、どう演じると良いか悩みながら自分の表現を工夫し、役になりきって演じることができるようになっていきました。まさに子供たちの可能性は無限大でした。

今後、学芸会での経験や多くの学びをこれからの学校生活に生かしていくことのできるよう、また子供たちと一緒に学習を進めてまいります。

なお、保護者の皆様には、衣装等様々にご協力いただきましたこと心から感謝いたします。ありがとうございました。

## お知らせ

### 1 「愛のハガキ運動」のお願いについて

毎年お願いしている「愛のハガキ運動」への協力の依頼がありましたので、本日児童にお願いの文書を配布しました。学校で集めて事務局へ渡しますので、2月28日までに子供を通して担任へお渡しください。

### 2 「千代田区相談カード」の配布について

千代田区立児童・家庭支援センターから「千代田区相談カード」の配布について依頼がありました。この依頼を受け、学校では12月初旬に各担任から子供たちに相談カードについて説明し、配布いたします。

### 3 「いじめ防止標語入りプラスチック定規（児童用）」及び「千代田区いじめ相談ホットラインのマグネットシート（家庭用）」の配布について

千代田区教育委員会事務局子ども部から「いじめ防止標語入りプラスチック定規（児童用）」と「千代田区いじめ相談ホットラインのマグネットシート（家庭用）」の配布について依頼がありました。

学校では11月の思いやり月間の振り返りの学習をする際、各担任から子供たちに「いじめ標語」等について説明するとともに、2つのいじめ防止啓発物品を配布いたします。

なお、本校では各クラスから提出された標語をもとにして、次の学校の標語を代表委員会で作りました。

「思いやり 心のとびら 開く鍵」

※教育委員会事務局子ども部から次のお詫びがありましたので、お知らせいたします。

「お茶の水小学校」の学校名について、「お茶ノ水小学校」と誤って印字されてしまいました。大変申し訳ございませんでした。以後このようなことのないよう一層の注意を払ってまいりますので、ご容赦いただきますよう、何卒お願い申し上げます。

（なお、お茶の水小学校には正しく印字された定規を作成し直し、配布するとのことです。）